

事務事業 No./名称	□サービス部門 都整-26		公園運営事業				
主管課	公園課	関連課	みどり課				
分野名	みどり						
目標 (目標値)	公園、緑地の適正な管理に努める。						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯				
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	243	515	520			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	243	515	520			
	人員配置数	0.3	0.3	0.3			
	人件費(千円)	2,383	2,608	2,555			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	2,626	3,123	3,075			
	市民1人当りの経費(円)	15	18	17			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
		目標値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値					

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	
公園運営事業	243千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	一般社団法人日本公園緑地協会、全国都市公園整備促進協議会及び神奈川県公園緑地行政連絡協議会への参加 都市公園等緑化推進専門委員との連携				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	情報交換はもとより、専門知識を学ぶ良好な機会となる各協議会主催の研修に、多くの職員が参加することが難しい。		
課題解決のための取組	各協議会主催の研修に多くの職員が参加することは難しいことから、補完的に参加職員からの報告や職場内で現地視察等の研修を実施した。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	職員が、より研修に参加できる体制をつくる。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了	
	➡	②妥当性 ○		公園、緑地の整備・管理運営については、常に国・県の動向を把握しておかなければならないことから、本事業はこれらの動向調査に欠かすことのできない事業であるため、今後も現状の形で参加を継続する。	課長等名	
		③有効性 ○			↓	公園課担当課長
		④公平性 ○			B	伊東 弘善

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
公園運営事業	1156	都市公園等緑化推進専門委員報酬	136	136	○	○	○	○
	1156	(一社)日本公園緑地協会、全国都市公園整備促進協議会、 神奈川県公園緑地行政連絡協議会 各会費	107	107	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							